

第9回旭川駅周辺かわまちづくり計画推進ワーキング 議事要旨

日 時：令和8年6月15日(月) 18:00～19:30

場 所：旭川合同庁舎 東館1階 入札執行室

出席者：佐藤座長、有馬委員、荒屋委員、佐藤委員、寺島委員、億貞委員、馬場委員、小原委員、川辺委員、小瀬氏他オブザーバー11名 計20名

議 題：昨年度推進WGの実施概要、前回WGの振り返り、分科会の実施報告、今年度の活動予定、今年度の重点的な活動方針（案）、今後のスケジュールについて



1. 議題に対する意見、情報連絡・意見交換

(1) 今年度の重点的な活動方針（案）について

- ・クマ出没で牛朱別川の旭山動物園までのサイクリングコースが走れない状態になっているので、石狩川ルートを検討をサイクリング分科会で課題として挙げてほしい。

(2) クマ対策について

- ・堤防上のサイクリングロードであれば、除草を適切に行うことでクマとの事故のリスクを相当減らせると思う。
- ・河畔林を伐採しても、その後雑草が入ってきてクマが隠れられる場所が余計に増えることになると思うので、クマ対策として河畔林を伐採することはやめてほしい。
- ・クマ対策として、下枝払いやブッシュの対策をしっかりと行わないといけない。

(3) 神楽岡公園の工事用道路施工時の樹木伐採について

- ・今河川敷に生えている若年性の中茎木のすべてが次世代を作る母樹になるわけではないので、現在の大きな樹木をしっかりと見ておかないといけない。
- ・倒れそうで危険な老木が数本あるので、少し注意してみて早めに切った方がいいと思う。

(4) 環境教育について

- ・環境・教育分科会でどこまでやるべきなのか、かわまちワーキングとしてどこまで学校教育に求めるかをみんなで共有しないと、環境・教育分科会だけでは難しい問題だと感じている。
- ・学校教育で本質的な問いまで踏み込めばシビックプライドに繋がり、かわまちフェスやまちな

かアクティビティに根付いている思いに子どもたちは気づいてくれると思う。

- ・川で環境教育をするのであれば、環境や人のつながり、さらには指導案が必要になり、お金がかかるので、そういった壁を乗り越えないと無理だということに来ている。
- ・子どもたちが水に親しむようになってきたが、地域の人たちにいろいろな情報を提供することがまさに教育だと思うので、地域での教育を結びつけてどんどん人を繋げていけば良い人間を育てることができるのではないかと感じる。
- ・教育となると、こういった入口から入って出口をどうやって、子どもたちに何を残せるかという長いカリキュラムになると難しいと思う。
- ・教育現場でこういった課題・問題があるかを整理すると、そこから議論できると思う。
- ・子どもたちが旭川に残る、あるいは旭川から出ていっていろいろな経験をしてまた旭川に戻ってくるといった好循環を作る上で、どのような人になってもらいたいのかというビジョンを議論して作る必要がある。
- ・川に関する知識、川の遊び方を座学と実技で習熟度をマッピングすることで、学校教育に落とし込むべきなのか、地域に落とし込むべきなのかといった話に繋がる可能性があると思う。
- ・必ずと言っていいほど、毎年誰かが水の事故で亡くなる状況にあるので、どうやって教育をしていくのかを考える必要がある。

(5) 情報発信について

- ・親水広場がどういう場所かも含めて地元の人に、親水広場ができて気をつけなくてはいけないことがあることを周知してほしい。

(6) その他

- ・親水広場が整備されて、夏を楽しめるアクティビティになればいいと思う。
- ・ツインハーブ橋上流の親水広場は常時解放されていると認識していたが、堤防上の道路や河川敷の管理用道路に車止めがあり、駐車場周辺には車両が進入できるものの上下流には行けなかったもので、確認してほしい。
- ・河川管理用道路の車両進入を鍵のダイヤル番号で試行的にやっているようだが、河川空間をいろいろな方が利用する中で、試行中どういう問題が起きるのか、どういう効果があるのか検証する必要がある。
- ・河川管理用道路の利用に関する問題を共有してそれを改善するような仕組みづくりをして、市民に知ってもらえるようなこともやっていかないといけない。
- ・駅前の池で泳げる、腰まで浸かれる、水に触れ合うことができる、流水にも行けるといったステップで安全性を確保していく必要がある。
- ・北彩都区間で川を利用する人が増えて賑わいが出てくれば、安全面で体制を少しレベルアップする必要がある。
- ・整備をしていけば、将来的に北彩都区間で子どもたちに川流れをさせる可能性もあるので、ライフジャケットのレンタルステーションを是非検討していただきたい。
- ・科学館に子ども用のライフジャケットが40着ぐらいあり、無料で貸すことも可能である。

以上